

## *Market Flash*

*Merry Christmas !*



2021.12



日本アルプス電子株式会社  
NIHON ALPS ELECTRONICS CO.,LTD.



## 今年の漢字に「金」

「金」を選んだ理由の概要として、東京五輪で日本人選手が多数の「金」メダルを取ったことや、大谷翔平選手が大リーグでMVPを獲得、藤井聡太さんの最年少四冠達成など各界で「金」字塔を打ち立てたことなどを列挙。さらに給付「金」や新紙幣、新硬貨などお「金」にまつわる話も話題に上ったことを挙げている。

コロナ禍のオリンピック開催はさまざまな議論を読んだ中での開催であった。ただ、もしオリンピックが開催されていなかったら、本当に何もかもコロナに負けた年となったのではないだろうか。少なからず子供達には良い影響を与えたと信じたい。

協会によると2番目に多かったのは、1万304票を集めた「輪」で、1位の「金」との票差は過去最も少ない118票だった。

どちらも五輪に絡む文字、「輪」はコロナ禍での人々の「輪」も現していることだろう。現在の世界のコロナ感染状況を見ていると日本人のコロナに対する結束力は世界一だろう。

スポーツ観戦、コンサートなどでの応援・声援も拍手のみ、みんなマスクを付けている。

日本人はよく個性を殺しているというが、この真面目さは日本人の特徴であり、誇れるものだと思う。

来年もコロナと対峙しなければならないが、日本人ならきっと克服できると信じて前に進みたい。

これまでの「今年の漢字」	1995年	震	04	災	13	輪
	96	食	05	愛	14	税
	97	倒	06	命	15	安
	98	毒	07	偽	16	金
	99	末	08	変	17	北
	2000	金	09	新	18	災
	01	戦	10	暑	19	令
	02	帰	11	絆	20	密
	03	虎	12	金	21	

### <流行語大賞>

#### リアル二刀流ノショータイム

大谷 翔平 さん(ロサンゼルス・エンゼルス所属)

暗いニュースが続く中でも毎朝この人のニュースを見るのが習慣位になった人が多いのではないだろうか。打ってはホームラン46本、投げては9勝の実力でアメリカン・リーグのMVPを受賞した、獲得票数満票だった。野球の神様、元祖二刀流のベーブ・ルースの「2桁本塁打&2桁勝利」を103年ぶりに塗り替えることはかなわなかったが、大谷選手の「二刀流」は大リーグで不動のものとなった。2回の手術でも二刀流をあきらめず、ゴミを拾い、審判に敬意を払い、雄たけびがクール、笑顔がキュート……。世界中で愛された選手である。

#### うっせえわ

Ado さん(歌手)

大人に悪態をつくのは、思春期の不良と相場は決まっていた。しかし、この歌の主人公は「ちっちゃな頃から優等生」だそう。そのわりにあまりに激しい「うっせえわ」。ミュージックビデオでは歌手本人ではなくイラストの少女がかみつかんばかりに叫んでいる。テンポよしノリよしで子どもが歌い、親はことばが悪いと注意しながらもつられて口ずさむ。1年以上続くコロナ禍で鬱屈した空気を思い切り晴らしてくれたのだ。



## 親ガチャ

### 受賞者なし

ガチャガチャで出てくるアイテムのように親を自分で選べないことで、親が当たりだったりはずれだったりすることをひと言で表現したことは。生まれた時の環境や親で自分の人生が決まっているという人生観が今の若者に広がっているのだという。

## ゴン攻め／ビッタビタ

### 瀬尻 稜 さん(プロスケートボーダー)

東京オリンピックで注目されたスノーボード。競技として見るのが初めての人も多かったと思う。しかし、いざ見てみるとカタカナ語のオンパレードで、ノーリーバックサイド270スイッチボードスライド、キックフリップ540メロンクラブなど…。その中であって、手すりや階段などの難所をがんがん攻めることを「ゴン攻め」、ねらい通りの場所にぴったりはまることは「ビッタビタ」という。この言葉が素人の人たちの救いになった。

## ジェンダー平等

### 芳野 友子 さん(日本労働組合総連合会 会長)

「すべての人が性別にかかわらず平等な機会と権利を持ち得ること」を意味するジェンダー平等は、今年浸透したSDGs・持続可能な開発目標の1つだ。

ただ、議員や管理職級の女性の割合を増やしてあげることがジェンダー平等だと勘違いしている人もまだ多いようだ。数合わせの見せかけだけではなんの意味もない。先入観や思い込みなどの「無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)」に気づき、だれもが今いる場所で存在を認められる世の中にするのが求められている。

## Z世代

### TOKYO MX 堀潤モーニングFLAGの皆さん

1990年代後半～2000年代に生まれた現在10～20代前半がそうよばれる。

この世代を象徴するものが何かというと、それはもうスマホである。「スマホ」が新語・流行語大賞を受賞したのが2011年、小学生の時には手に持つおもちゃはスマホだった世代だ。新しい感覚が今の流行を作り出している。

## 黙食

### マサラキッチン 三辻 忍 さん(マサラキッチン 店主)

「黙々と食べる」から黙食。ポスターを掲示して呼びかけた飲食店が話題になったことでコロナ禍の食事のマナーが定着した。

飲食店も無言で飲食すればサービスの品を提供するなど黙食を促進、お客もSNSで会話するなどで応えた。



## <2020年のヒット商品> 日経トレンドが選んだベスト30

2021年のヒット商品の特徴は、まず**TikTok関連の商品**であった。特にTikTokを利用した商品の販売が大ヒット。これまでも既存のSNS中で話題の商品が欲しくなるということはあったかもしれないが、それは誰をフォローするかによって変わっていた。一方でTikTokは、利用者の嗜好に合いそうな動画をアプリが選んで次々に表示する「レコメンド」機能が特徴。21年には衣料やお菓子、書籍など、TikTokで人気を得て意外なヒットを飛ばした製品が、数多く生まれた。

もう一つ1つ顕著だったのが、**昭和・平成時代の定番商品の続編やリメイクが数多く成功したこと**。単純に昔の商品を復刻するのではなく、最新の技術や価値を取り入れた商品がヒットしている。

映画の興行収入ランキング1位は、1995年から始まった「エヴァンゲリオン」の最終回。ゲームでは、88年からあった「桃太郎電鉄」の数年ぶり新作が300万本売れた。この他、60年代の食器(プリントグラス)も50万個以上売れている。

そして、これらの消費を支えたのが「**Z世代**」である。

Z世代とは、1990年後半から2000年代に生まれた人を指す言葉。

主に1960～70年代に生まれた人をX世代、80～90年代に生まれ

た人をY世代(ミレニアム世代)と呼び、「X」と「Y」の次世代という点から「Z」という名称が付けられた。

2021年現在の年齢にして10～21歳となる。

この世代は物心がついたときからすでにデジタル技術が発達しており、インターネットやオンラインの世界に慣れ親しんでいるという点が特徴。

Web検索を巧みに使って情報収集をし、主なコミュニケーションはSNSで行うなど、ライフスタイルの中心にデジタル技術が存在しているのである。

こうしたZ世代が、TikTokを使い商品を選定し、一方で、昭和の匂い漂うレトロな雰囲気インスタ映えするという一方で好むという行動が今年のトレンドとなった。

今後についてもこの10代の年齢層を中心とするマーケティング戦略が商品戦略や販売戦略に大きな影響を及ぼしていくことであろう。

### 2021年ヒット商品ベスト30

順位	製品などの名称
1	TikTok売れ
2	ウマ娘 プリティーダービー
3	シン・エヴァンゲリオン劇場版
4	昭和・平成レトロブーム
5	ahamo / povo / LINEMO

#### 【1位】TikTok売れ

短尺動画サイトが利用者1000万を突破し、最強の動画コマースサービスに進化。ゴミから高級車まで、あらゆるモノが売れた。

#### 【2位】ウマ娘 プリティーダービー

競馬をテーマにした美少女系ゲームが累計1000万ダウンロード突破。競馬へのあくなき追究が支持を広げた。

#### 【3位】シン・エヴァンゲリオン劇場版

新劇場版4部作がついに終結。公開延期も武器にしたマーケティング戦略にファンが熱狂し、興行収入100億円を達成。

#### 【4位】昭和・平成レトロブーム

50万個超えのレトロ食器、昭和風景の遊園地……。

Z世代が「かっこいい」「かわいい」と肯定的に評価し、ブームが拡大した。







## 【5位】ahamo/povo/LINEMO

2021年3月の開始前から話題を呼び、大手3社合計で約300万契約を獲得した。競争でスマホ料金の低廉化が一気に進んだ。



## 【6位】マリトッツォ

ローマ発のシンプルスイーツを、大手企業やコンビニなどが商品化。アレンジ合戦にはテイクアウト寿司店も参入した。



## 【7位】キリン一番搾り 糖質ゼロ

国内初となる「糖質ゼロ」ビールが、キリンビールの史上最速で累計2億本を達成。味と健康の両立を狙う人が飛びついた。



## 【8位】BTS

韓流アイドルが国際化によって人気が加速し、ついにミリオンを記録。韓国ブームでは語れない“逆輸入”現象が起きた。



## 【9位】ピッコマ

定番漫画アプリの一つが、「縦読みフルカラー漫画」の強化で新規ファンを開拓。21年は7カ月で販売金額315億円を達成した。

## 【10位】Visaのタッチ決済

クレジットカードの非接触決済サービスが、対応カード発行枚数と対応店舗数をともに大きく伸ばした。結果、取引件数が1年で約5倍に急伸。





## <2022年ヒット予測ランキング>

同時に発表された2022年のヒット予測の1位は「Miles」「ANA Pocket」

コロナが収束するしないにかかわらず、消費は全く新しい形になる——。「Miles」「ANA Pocket」が無価値だった移動を“金の卵”に変える。新型コロナウイルス感染症との戦い方がある程度見えてきた2021年。22年は今までの価値観が通用しない、時代やトレンドの転換点になるとしている。

2022年のキーワードとして以下の5つを挙げている。

### 【キーワード1】移動が価値に

代表的なのは「移動」革命だ。これまで“無価値”だった移動そのものが、お得を生む金の卵になる。

「Miles」「ANA Pocket」という、移動でマイルがたまる2大サービスの登場により、コロナ禍で落ち込んだ移動したい欲求が高まる。ワクチンの接種済み証明書を電子化し、様々な場所で提示することで特典を享受できる仕組みも整い、追い風となる。

私も今年このMilesに登録、毎日の移動が管理されている感もあるが、毎日の移動がデジタル化され、それがさまざまな商品の購入に利用できるのは楽しみである。(まだファミマのコーヒーしか消費していないが・・・)

## 2022年ヒット予測ランキング

順位	製品などの名称
1	Miles／ANA Pocket
2	冷凍食品専門スーパー
3	NFTトレカ／アート
4	次世代自販機
5	軽量“スマート”グラス

Miles／ANA Pocket(左) ■ワクチンパスポート(右)



### 【キーワード2】メタバース経済圏

リアルな世界で価値観の変革が起こる一方で、バーチャル上の世界も進化を遂げる。

オンラインのみでのコミュニケーションがある程度普及したが、22年はこれがさらに発展。バーチャル空間上で自らのアバターを介して他のユーザーとコミュニケーションを取る「メタバース」が定着する。

デジタル上でコンテンツを売買するなどの経済活動が一般的になり、消費の“源泉”になる。ANAが仕掛ける「SKY WHALE」は、バーチャル上の観光地を旅行しながら買い物もできる、全く新しい旅の方法としても注目される。

■NFTトレカ／アート(上)

■パラレル(下左) ■メタバース旅行(下右)



### 【キーワード3】“食通”革命

22年は食の流通も姿を変える。スマホで注文するとコーヒーが自動で用意される無人AIカフェ「root C」、 “インスタント以上”の麺がその場で楽しめるラーメン自動販売機「Yo-Kai Express」が街中で勢力を伸ばし、手軽に非接触でおいしいものが食べられる。

コロナによって家庭内での食事を見直す流れは引き続きあり、スーパーも次の一手を打つ。高まった冷凍食品の需要をつかむ、冷凍食品専用店だ。

リオン・ドールコーポレーションは「みんなの業務用スーパーLynx(リンクス)」を仕掛け、生鮮三品を冷凍で購入する新スタイルの定着を狙う。



## 【キーワード4】自己分析テック

巣ごもり生活が長くなり、自らを“分析”するニーズも高まってきた。これに合わせて**集中力や体調を測定するウェアラブルデバイスが進化**。これまでのスマートグラスは、サイズと重さの問題から日常使いに向かなかったが、ようやく見た目もスマートな製品が出そろった。  
「JINS MEME」は集中力を管理できるので、テレワークなどに役立つ。充電不要のバンド型活動量計など、真の意味で肌身離さず持ち歩けるウェアラブルデバイスによって市場が広がることは間違いない。

- 軽量“スマート”グラス (上)
- フェムテックギア (下左)
- マザープレスレット (下右)



## 【キーワード5】Z世代御用達

トレンドの台風の目になりつつある**Z世代が22年もブームをつくる**。クリエイターとアーティストがコラボする新しい形態が音楽業界を席けんする。エンタメ発信地「**MAISONdes(メゾン・デ)**」を中心に、次々とヒット曲が生まれそう。糖質、カロリーを抑えた新しい酒「**トポチコ ハードセルツァー**」(コカ・コーラ)も「お酒を飲むのはカッコ悪い」と考える若者が広めそう。

- ハードセルツァー (上)
- MAISONdes (下)





この1年、このレポートを読んで頂き誠にありがとうございました。

締めくくりとして、恒例の今年の問題をまとめてみました。

今年もコロナとの闘いが続きましたが、その中でも東京オリンピック・パラリンピックが行われ、その他のスポーツ大会も再開されるようになりました。

少しづつではありますがアフターコロナへ向けて動き出した年であったと思います。

来年はより躍動感に満ちた年になることを祈るばかりです。

## 【スポーツ】

- ・2月東京五輪組織員の新会長に橋本氏
- ・2月大阪なおみ2年ぶり全豪優勝
- ・4月松山がメジャー制覇(マスターズ)
- ・5月大阪なおみ全仏は会見せず
- ・6月笹生全米女子オープン制覇
- ・6月山縣9秒95の日本新記録
- ・7月大谷、球宴で二刀流
- ・7月東京五輪開幕
- ・8月東京パラリンピック開幕
- ・10月ヤクルトが6年ぶり優勝
- ・10月オリックスが「四半世紀ぶり優勝
- ・11月大谷が満票でMVP
- ・11月ヤクルトが20年ぶり日本一

## 【国内】

- ・1月1都3県に緊急事態宣言
- ・2月医療従事者ワクチン接種始まる
- ・4月3度目の緊急事態宣言
- ・6月9都道府県緊急事態宣言解除
- ・7月熱海で大規模な土石流
- ・7月東京、4度目の緊急事態宣言
- ・8月小田急線車内で乗客切り付け
- ・8月東京メトロ白銀高輪駅で硫酸まかれる
- ・8月緊急事態宣言宮城など8道県追加
- ・9月岸田新総裁誕生
- ・10月緊急事態、重点措置を全面解除
- ・10月衆議院解散
- ・10月京王線社内で刃物、放火
- ・11月オミクロン株国内初確認

## 【海外】

- ・1月バイデン米大統領就任
- ・2月ミャンマーでクーデター
- ・3月香港選挙制度変更を決定
- ・5月G7 中国に重大懸念
- ・6月台湾の平和と安定重要「G7サミット
- ・6月香港のリンゴ日報の歴史に幕
- ・8月タリバン、アフガン制圧
- ・8月米、アフガン戦争終結
- ・9月中国恒大経営危機
- ・11月新変異株オミクロン株を「懸念」指定

## 【訃報】

- ・古賀稔彦 ・小野清子 ・田中邦衛
- ・橋田寿賀子 ・田村正和
- ・ジェリー藤尾 ・千葉真一 ・笑福亭仁鶴
- ・細木数子 ・瀬戸内寂聴 ・神田沙也加

本年も大変お世話になり誠にありがとうございました。  
来年も引き続きお引き立てのほど宜しくお願い申し上げます。

来年も皆様にとって健康で明るい年になりますよう心より  
お祈り申し上げます。

